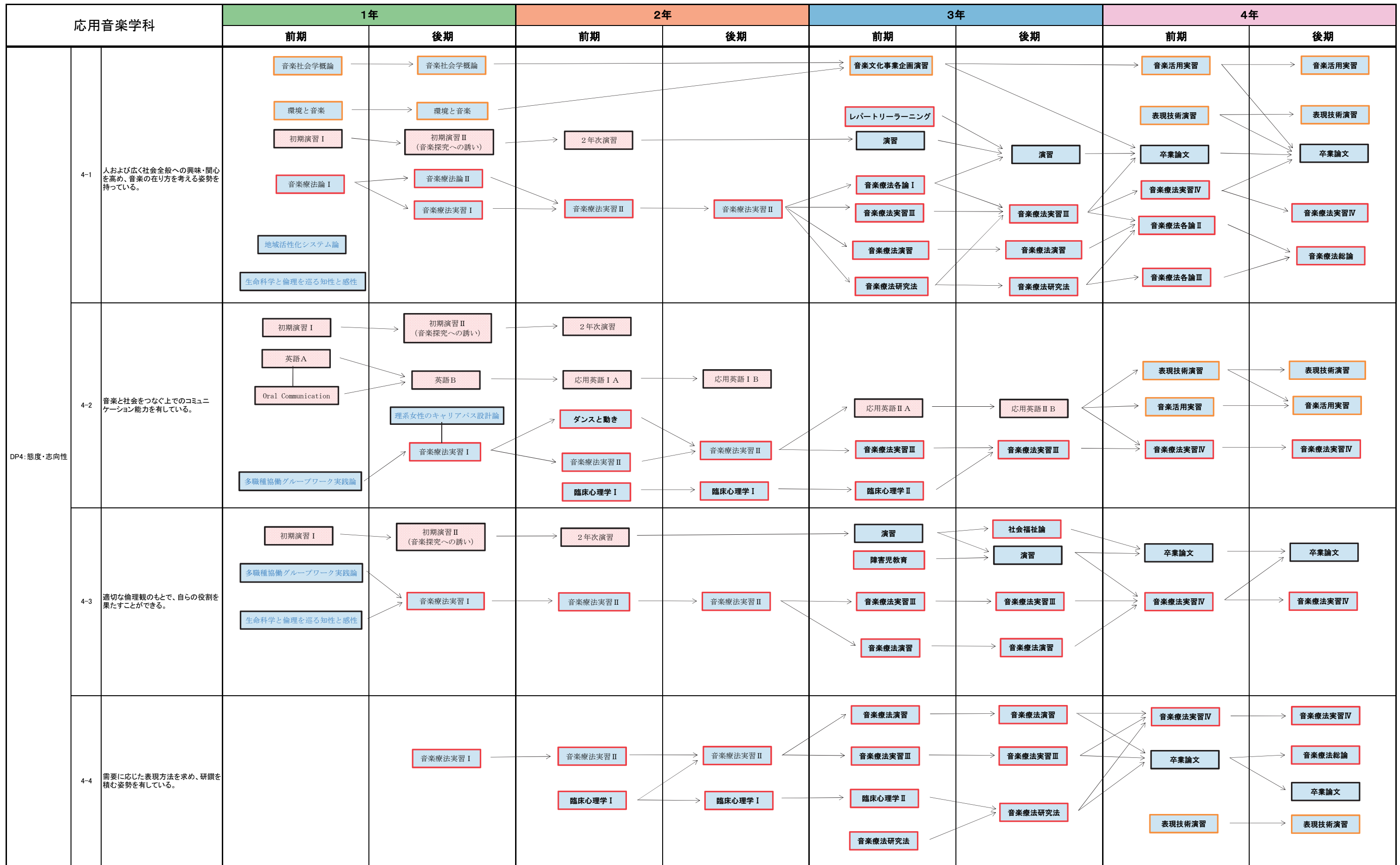


応用音楽学科			1年		2年		3年		4年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
DPI: 知識・理解	1-1	多岐にわたるジャンルの音楽に共通する幅広い専門知識を有している。	和声法A ソルフェージュ I A 初期演習 I 音楽史 I 音楽社会学概論	和声法B ソルフェージュ I B 初期演習 II (音楽探究への誘い) 音楽史 I 学内演奏 I 音楽社会学概論	旋律と和声A ソルフェージュ II 2年次演習 音楽史 II 実用楽器入門	旋律と和声B ソルフェージュ II 音楽史 II 実用楽器入門 学内演奏 II	音楽文化事業企画演習 学内演奏 III	作・編曲法 A 音楽活用実習	作・編曲法 B 音楽活用実習	
	1-2	音楽以外の芸術、医学、心理学、情報・メディアなど幅広い知識を有している。	生命科学と倫理を巡る知性と感性 多職種協働グループワーク実践論 音楽療法論 I 発達心理学 地域活性化システム論 環境と音楽	理系女性のキャリアパス設計論 音楽療法論 II 音楽心理学 臨床心理学 I 環境と音楽	ダンスと動き 音楽心理学 臨床心理学 I 音楽とマルチメディア	介護論 臨床心理学 I 音楽とマルチメディア	プレプロフェッショナル教育 障害児教育 音楽療法各論 I 臨床心理学 II 臨床医学各論 I	プレプロフェッショナル教育 医学概論 社会福祉論 臨床医学各論 II	音楽療法各論 II 音楽療法各論 III 音楽教育学研究 音楽文化創造学	音楽療法各論 III 音楽療法各論 III 音楽教育学研究 音楽文化創造学
	1-3	海外の論文や文献研究に必要な語学力を有している。	英語 A Oral Communication イタリア語表現演習	英語 B イタリア語表現演習	応用英語 I A	応用英語 I B	応用英語 II A	応用英語 II B		
DP2: 技能・表現	2-1	現場で最も需要が高いピアノの高い演奏技能を中心に、さまざまな楽器を活用する能力を有している。	ピアノ実技 I A 声楽実技 I A	ピアノ実技 I B 声楽実技 I B	教育伴奏法 ピアノ実技 II A 即興演奏 A 実用楽器入門 声楽実技 II A	教育伴奏法 ピアノ実技 II B 即興演奏 B 実用楽器入門 声楽実技 II B	ピアノ実技 III A 器楽合奏	ピアノ実技 III B 邦楽	ピアノ実技 IV A 楽器・合奏指導法 邦楽	ピアノ実技 IV B 邦楽
	2-2	音楽を医療、福祉、環境、教育など多様な分野において実践する力を有している。	ピアノ実技 I A 声楽実技 I A 合唱 I 音楽療法論 I	ピアノ実技 I B 声楽実技 I B 合唱 I 音楽療法論 II 音楽療法実習 I	教育伴奏法 ピアノ実技 II A 声楽実技 II A 合唱 II 即興演奏 A 実用楽器入門 音楽療法実習 II	教育伴奏法 ピアノ実技 II B 声楽実技 II B 合唱 II 即興演奏 B 実用楽器入門 音楽療法実習 II	プレプロフェッショナル教育 ピアノ実技 III A 歌唱・合唱指導法 合唱 III 器楽合奏 音楽療法演習 音楽療法各論 I 音楽療法実習 III	プレプロフェッショナル教育 ピアノ実技 III B 合唱 III 合唱 III 音楽療法演習 音楽療法実習 III 社会福祉論	邦楽 ピアノ実技 IV A 楽器・合奏指導法 音楽療法各論 II 音楽療法実習 IV 音楽療法各論 III	邦楽 ピアノ実技 IV B 音楽療法実習 IV 音楽療法各論 III

応用音楽学科			1年		2年		3年		4年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
DP2: 技能・表現	2-3	生涯学習における音楽的指導、学校教育における音楽教育の指導者としての知識や技術を習得している。	ピアノ実技 I A 声乐実技 I A 合唱 I ソルフェージュ I A 和声法 A 音楽史 I	ピアノ実技 I B 声乐実技 I B 合唱 I ソルフェージュ I B 和声法 B 音楽史 I	実用楽器入門 教育伴奏法 ピアノ実技 II A 声乐実技 II A 合唱 II 指揮法 I ソルフェージュ II 旋律と和声 A 音楽史 II	実用楽器入門 教育伴奏法 ピアノ実技 II B 声乐実技 II B 合唱 II 指揮法 II ソルフェージュ II 旋律と和声 B 音楽史 II	器楽合奏 ピアノ実技 III A 合唱 III 生涯学習関係論 I 歌唱・合唱指導法	器楽合奏 ピアノ実技 III B 合唱 III 生涯学習関係論 II	楽器・合奏指導法 ピアノ実技 IV A 音楽教育学研究 作・編曲法 A 邦楽	ピアノ実技 IV B 音楽教育学研究 作・編曲法 B 邦楽
	2-4	音楽産業の中での、企画・運営能力を有している。		学内演奏 I	学内演奏 II 音楽とマルチメディア	演習 音楽文化事業企画演習	演習 学内演奏 III	卒業論文 音楽活用実習	卒業論文 音楽活用実習	卒業論文 音楽活用実習
DP3: 思考・判断	3-1	理論と実践を通して音楽知識や技術を習得し、それらに応用することによって豊かな社会をつくることのできる能力を有している。		音楽療法実習 I	音楽療法実習 II	音楽療法実習 II レパトリーラーニング 音楽療法演習 音楽療法実習 III 演習 生涯学習関係論 I 音楽文化事業企画演習	音楽療法演習 音楽療法実習 III 演習 生涯学習関係論 II	音楽療法実習 IV 卒業論文 音楽活用実習 音楽文化創造学	音楽療法実習 IV 卒業論文 音楽活用実習 音楽文化創造学	音楽療法実習 IV 音楽療法総論 卒業論文 音楽活用実習 音楽文化創造学
	3-2	各現場で“求められる音楽”を判断し、創造することができる。	声乐実技 I A ピアノ実技 I A	声乐実技 I B ピアノ実技 I B 発達心理学	声乐実技 II A ピアノ実技 II A 即興演奏 A 音楽心理学 臨床心理学 I	声乐実技 II B ピアノ実技 II B 即興演奏 B 臨床心理学 I 音楽療法実習 II	ピアノ実技 III A 音楽療法演習 臨床心理学 II 音楽療法実習 III 音楽文化事業企画演習	ピアノ実技 III B 音楽療法演習 音楽療法実習 III	ピアノ実技 IV A 音楽療法実習 IV 表現技術演習	ピアノ実技 IV B 音楽療法総論 音楽療法実習 IV 表現技術演習
	3-3	情報を収集・分析し、客観的に問題提起および音楽に基づく解決策を提案できる。	多職種協働グループワーク実践論 情報リテラシー I	音楽療法実習 I 情報リテラシー II 学内演奏 I	音楽療法実習 II 2年次演習	音楽療法実習 II 学内演奏 II	演習 音楽療法実習 III 音楽療法研究法 レパトリーラーニング	演習 音楽療法実習 III 音楽療法研究法 学内演奏 III	音楽療法実習 IV 卒業論文 音楽活用実習	音楽療法総論 音楽療法実習 IV 卒業論文 音楽活用実習



基礎教育科目
 音楽療法専修推奨科目
明朝体 基礎的な内容の科目
 専門教育科目
 音楽活用専修推奨科目
ゴシック体 専門性の高い科目
 いずれの専修にも共通する科目